



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場会社名 ポラリス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3010 URL <https://www.polaris-holdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻川 高寛
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 最高財務責任者 (氏名) 半田 高史 TEL 03-5822-3010
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,752	73.4	442	142.1	287	—	257	—
2024年3月期第1四半期	2,740	129.8	183	—	△4	—	△33	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 363百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 24百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	2.07	2.03
2024年3月期第1四半期	△0.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	22,915	7,248	31.6
2024年3月期	23,208	6,885	29.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 7,247百万円 2024年3月期 6,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,078	△10.9	1,891	△44.1	1,315	△49.6	1,473	△55.3	11.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 一社 (社名)、除外 1社 (社名) 一般社団法人天神ホテル管理
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	124,133,889株	2024年3月期	124,133,889株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,674株	2024年3月期	1,674株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	124,132,215株	2024年3月期1Q	119,502,094株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績の概況は次のとおりであります。

a. 連結業績

(単位：百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減率
売上高	2,740	4,752	73.4%
営業利益	183	442	142.1%
経常利益	△4	287	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△33	257	—

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加に支えられ、景気は緩やかに回復の動きを見せておりますが、円安等に起因する資源・エネルギー価格や諸資材の物価上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループのメイン事業であるホテル業界におきましては、訪日外客数が本年3月から6月までの各月において300万人を超え、6月単月では過去最高の314万人を記録するなど訪日外客数の増加傾向が続きました。また、インバウンド消費動向調査におきましては、本年4月から6月までの訪日外国人旅行消費額（1次速報）は、2兆1,370億円（2019年同期比+68.6%、前年同期比+73.5%）と大幅に増加しており、市場規模の拡大に寄与しております。

観光庁が公表している宿泊旅行統計調査によると、2024年5月第2次速報は、国内全体の延べ宿泊者数は5,390万人泊（2019年同月比+4.9%、前年同月比+5.0%）、その内訳として日本人延べ宿泊者数が4,034万人泊（2019年比△3.2%、前年比△4.7%）、外国人延べ宿泊者数が1,356万人泊（2019年比+39.4%、前年比+50.4%）となっております。

このような環境下において、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高4,752百万円（内、国内売上高4,087百万円、海外売上高666百万円）、営業利益442百万円（内、国内営業利益357百万円、海外営業利益85百万円）となりました。主な要因は、「b. セグメント別業績」に記載のとおりであります。

経常利益287百万円（内、国内経常利益352百万円、海外経常利益△65百万円）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益257百万円（内、国内親会社株主に帰属する四半期純利益351百万円、海外親会社株主に帰属する四半期純利益△94百万円）となりました。

当社は、本年5月14日に2027年3月期までの当社グループの中期経営計画（2024年度-2026年度）を策定し、中期経営計画に基づく事業戦略を実現するため、同日に当社のスポンサーグループであるスターアジアグループに属するスターアジア投資顧問株式会社及び同社に資産の運用を委託するスターアジア不動産投資法人との間でホテル運営等に係る包括的サポート契約を締結いたしました。

また、当社は、当該中期経営計画に基づき当社グループのホテル事業との類似性及び親和性が高い株式会社ミナシア（以下「ミナシア社」という。）に対して本年6月に当社のスポンサーグループであるスターアジアグループとの共同出資を実施するとともに、ミナシア社との協業等によるシナジー効果を実現するため業務提携等契約を締結いたしました。

b. セグメント別業績

<ホテル事業>

(単位：百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減率
売上高	2,729	4,735	73.5%
営業利益	268	607	126.4%

ホテル事業は、売上高4,735百万円、営業利益607百万円となりました。上記のとおり、良好なホテルマーケットのもと、緻密なレベニューマネジメントを実施し、高い稼働率及び客室単価を維持しております。また、当社グループでは2023年9月には宮城県仙台市においてKOKO HOTEL 仙台勾当台公園、KOKO HOTEL 仙台駅前South、KOKO HOTEL 仙台駅前West、2023年12月にはRed Planet BGC The Fort、本年3月には愛知県名古屋市のベストウェスタンプラス名古屋栄の運営を開始しており、業績の向上に寄与しております。また、本年4月には自社ブランドであるKOKO HOTELのさらなる認知拡大のためフィノホテル札幌大通をKOKO HOTEL 札幌大通にリブランドしております。

<不動産事業>

(単位：百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減率
売上高	134	18	△86.9%
営業利益	64	17	△73.4%

不動産事業は、売上高18百万円、営業利益17百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの財政状態の概況は次のとおりであります。

(資産)

総資産は、22,915百万円となりました。これは、前連結会計年度末より293百万円の減少であります。主な要因は、その他の流動資産の減少906百万円、建物及び構築物（純額）の増加451百万円などによるものであります。

(負債)

負債合計は、15,667百万円となりました。これは、前連結会計年度末より656百万円の減少であります。主な要因は、未払金の減少341百万円、その他の流動負債の減少525百万円などによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、7,248百万円となりました。これは、前連結会計年度末より363百万円の増加であります。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などに伴う利益剰余金の増加257百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,384,374	2,915,861
売掛金	1,761,216	1,781,317
原材料及び貯蔵品	126,576	117,372
その他	2,690,186	1,783,761
貸倒引当金	△5,926	△6,224
流動資産合計	7,956,426	6,592,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,776,563	10,227,149
土地	493,725	506,100
使用権資産（純額）	2,087,426	2,139,221
その他（純額）	414,356	412,657
建設仮勘定	37,247	59,999
有形固定資産合計	12,809,316	13,345,126
無形固定資産		
その他	30,234	53,570
無形固定資産合計	30,234	53,570
投資その他の資産		
投資有価証券	179,909	179,909
敷金及び保証金	1,258,893	1,260,966
その他	973,330	1,483,534
投資その他の資産合計	2,412,131	2,924,409
固定資産合計	15,251,681	16,323,105
資産合計	23,208,107	22,915,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	362,824	340,132
短期借入金	984,000	970,700
1年内返済予定の長期借入金	849,308	815,443
未払金	1,846,072	1,505,545
未払法人税等	18,071	34,376
株主優待引当金	6,235	6,235
賞与引当金	—	34,875
その他	1,713,840	1,188,626
流動負債合計	5,780,350	4,895,931
固定負債		
長期借入金	6,016,982	6,009,261
資本性劣後借入金	950,000	950,000
リース債務	2,925,280	3,039,203
退職給付に係る負債	32,897	34,584
資産除去債務	169,000	169,000
その他	448,815	569,005
固定負債合計	10,542,975	10,771,053
負債合計	16,323,325	15,666,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,571	65,571
資本剰余金	2,317,803	2,317,803
利益剰余金	4,438,943	4,696,041
自己株式	△2,992	△2,992
株主資本合計	6,819,325	7,076,424
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	64,735	171,062
その他の包括利益累計額合計	64,735	171,062
新株予約権	722	722
純資産合計	6,884,782	7,248,207
負債純資産合計	23,208,107	22,915,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,740,109	4,752,112
売上原価	165,408	201,714
売上総利益	2,574,701	4,550,398
販売費及び一般管理費	2,392,153	4,108,387
営業利益	182,548	442,011
営業外収益		
受取利息	6,082	6,555
助成金収入	3,901	2,039
為替差益	5,414	1,214
その他	1,975	200
営業外収益合計	17,372	10,008
営業外費用		
社債利息	15,767	—
支払利息	183,499	160,573
その他	5,050	4,803
営業外費用合計	204,316	165,376
経常利益又は経常損失(△)	△4,396	286,643
特別損失		
投資有価証券評価損	2,585	—
特別損失合計	2,585	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,981	286,643
法人税、住民税及び事業税	11,747	21,872
法人税等調整額	14,519	7,673
法人税等合計	26,266	29,545
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,247	257,098
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,247	257,098

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,247	257,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	—
為替換算調整勘定	57,591	106,327
その他の包括利益合計	57,621	106,327
四半期包括利益	24,374	363,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,374	363,425

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,729,341	10,768	2,740,109	—	2,740,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	123,171	123,171	—	123,171
計	2,729,341	133,939	2,863,280	—	2,863,280
セグメント利益	268,222	63,799	332,021	—	332,021

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	332,021
全社費用(注)	△149,473
四半期連結損益計算書の営業利益	182,548

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,734,513	17,599	4,752,112	—	4,752,112
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,734,513	17,599	4,752,112	—	4,752,112
セグメント利益	607,300	16,943	624,244	—	624,244

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	624,244
全社費用(注)	△182,233
四半期連結損益計算書の営業利益	442,011

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	178,279千円	226,424千円